令和6年度　シラバス

学年	教科	教材
3年	国語科	・教科書　『国語3』（光村図書） ・副教材　『学習漢字ノート3』（浜島書店） 『国語の学習3』（明治図書） 『つまずかない！文法の学習』（新学社） 『国語便覧』（浜島書店）

1. 学習の目標
   - 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身につけるとともに、話しことばを豊かにしようとする態度を育てる。
   - 他者の考えや主張を積極的に受容し、自らと異なる立場の主義主張を尊重できる態度を育てるとともに、その主張の本質を的確に捉える能力を育てる。
   - 様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身につけるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。
   - 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身につけるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。
2. 学習の方法
   - 授業はみんなで一緒に作りあげるものです。積極的に楽しく参加しましょう。
   - 提出物や宿題は必ずやり遂げ、期限までに提出できるようにしましょう。
   - ノートは自分のためのものです。後から見直ししやすいよう、メモをとるなど工夫して書きましょう。
   - 漢字は自分でコツコツと学習することが大切です。繰り返し書いて覚えましょう。
   - 本は知識の宝庫です。たくさん本を読みましょう。
3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	定期テスト、小テスト、書写の作品などで評価します。
思考・判断・表現	定期テスト、小テスト、スピーチ、作文、課題などで評価します。
主体的に学習に取り組む態度	定期テスト、授業への取り組み方、提出物の状況などで評価します。

4. 年間指導計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	世界はうつくしいと	・特徴的な言葉や表現の工夫に着目し、詩に込められた思いを読み取る。 ・自分にとっての「うつくしいもの」は何か考える。	・語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読み、詩に込められた思いを捉えるとともに、自分の意見をもつ。
	握手	・登場人物の言動に着目し、登場人物の人物像や心情を考える。	・登場人物の言動に着目し、人物像や心情を捉えることができる。

5	学びて時に之を習ふ―「論語」から	・漢文を訓読し、現代語に直す。 ・孔子のものの見方や考え方を読み取り、自分の生活に当てはめて考える。	・漢文を正確に訓読し、現代語に直すことができる。 ・孔子のものの見方や考え方を自分たちの生活と関連づけて理解することができる。
	漢字1 熟語の読み方	・二字熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを知る。	・熟語に関する知識を広げる。
		活用問題①	・公立入試問題の出題形式に対応することができる。
6	作られた「物語」を超えて	・論理の展開を捉え、筆者の主張を読み取るとともに、文章の構成や論理の展開を評価する。	・文章における具体と抽象の関係を捉えることができる。 ・文章の構成や論理の展開など論説文の特性を捉えて読むことができる。
	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける	・話す相手や目的を意識して、スピーチ原稿を書く。	・話す相手や目的を意識して、スピーチの内容と構成を考えることができる。
	俳句の可能性 俳句を味わう	・俳句の特色などを知るとともに、それぞれの俳句に表現されている心情や情景などを捉える。	・作者のものの見方や感じ方、表現の仕方などを読み味わい、俳句の世界に親しむ。
	言葉1 和語・漢語・外来語	・和語、漢語、外来語、混種語の性質や特徴について学ぶ。	・和語、漢語、外来語、混種語の性質や特徴についての理解を深める。
7	文法への扉１ すいかは幾つ必要？	・文法的な観点から文章を見直す方法や、文法を生かした表現の工夫について学ぶ。	・文法についての理解を深め、表現に生かす方法を知る。
	文章の種類を選んで書こう	・文章の種類とその特徴について学ぶ。	・文章の種類とその特徴について理解を深める。
	実用的な文章を読もう	・実用的な文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。	・実用的な文章の構成や論理の展開、表現の仕方について理解を深める。
	報道文を比較して読もう	・新聞記事を比較し、気づいたことや感じたことをまとめる。	・情報の発信者の思いや意図、背景にあるものを読み取ることができる。
		活用問題②	・公立入試問題の出題形式に対応することができる。
9	挨拶―原爆の写真によせて	・語句や表現に込められた意味とその効果について考える。 ・作者のものの見方や考え方について、自分の意見をもつ。	・比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を捉えることができる。 ・詩に表現されている内容と、現代社会の状況を重ね合わせながら考えを深める。
	故郷	・場面や登場人物の設定に着目し、登場人物の心情や関係の変化を読み取る。	・時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。

	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	・慣用句、ことわざ、故事成語の特徴や性質について学ぶ。	・慣用句、ことわざ、故事成語について理解を深める。
10	音読を楽しもう 古今和歌集　仮名序	・語句の使い方や表現の効果に注意しながら読み、古文の言葉の響きやリズムを味わう。	・語句の使い方や表現の工夫に注意しながら読み、古典の世界に親しむ。
	君待つと ―万葉・古今・新古今	・効果的な表現や語句の使い方に着目して読み、和歌に詠まれた作者の心情や情景を想像する。	・作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考えることができる。
	人工知能との未来 人間と人工知能の創造性	・筆者の意見を捉え、それぞれの文章の要旨をまとめる。 ・二つの文章を比較し、共通点や相違点をまとめる。	・文章の要旨をまとめることができる。 ・二つの文章を比較することで批判的な読み方を身につける。
	多角的に分析して書こう	・論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある文章を書く。	・社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し考えを深める。
		活用問題③	・公立入試問題の出題形式に対応することができる。
11	夏草 ―「おくのほそ道」から	・表現の仕方や文体の特徴を捉える。 ・作者のものの見方や感じ方について考える。	・歴史的背景などに注意し、表現の仕方や文体の特徴に着目して読み味わう。 ・作者のものの見方や感じ方を捉える。
	誰かの代わりに	・抽象的な語句に着目して読みを深め、論理の展開を捉える。 ・現代社会や生き方に対する自分の考えをまとめる。	・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読むことができる。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつことができる。
	文法への扉2 「ない」の違いがわからない？	・問題に取り組み、中学校三年間で学習した文法についての知識を整理する。	・中学校三年間で学習した文法についての理解を深める。
	初恋	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・語句や表現に込められた意味を捉える。	・詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つことができる。
	話し合いを効果的に進める	・論点を整理するなどして、話し合いを効果的に進める。	・話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫することができる。

12	合意形成に向けて話し合おう	・生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をする。 ・話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、課題の解決に向けて考えの違いを生かし合う。	・社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うことができる。
		活用問題④	・公立入試問題の出題形式に対応することができる。
1	温かいスープ	・筆者の体験談から、筆者の主張を読み取る。	・筆者の主張を踏まえて、国際社会における人と人との関係について、考えを深める。
	わたしを束ねないで	・詩の中の特徴的な言葉や表現の工夫などについてまとめる。 ・詩に込められた作者の思いを読み取り、自分の意見をもつ。	・詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考える。
	エルサルバドルの少女　ヘスース 紛争地の看護師	・作品を読み、考えたり感じたりしたことをまとめる。	・読書活動を通して、自分自身のものの見方や考え方を広げる。
2	三年間の総復習	・問題演習を通して、中学校で学習した国語の知識を確認する。	・中学校で学習した内容について理解を深める。
		活用問題⑤	・公立入試問題の出題形式に対応することができる。
3	三年間の歩みを振り返ろう	・三年間の学びを振り返りながら、自分の考えをまとめる。 ・書いた作品や発表内容を評価し合う。	・自分の考えを深め、構成を工夫してまとめることができる。 ・書いた作品や発表内容を評価し合うことで、ものの見方や考え方を深める。